

# かもがわ 議会だより

発行 議会広報委員会

〒296-8601 鴨川市横渚1450番地 電話04(7093)7825

ホームページアドレス <http://www.city.kamogawa.lg.jp/>

令和8年(2026年)

5月15日

第85号

一般質問議員10人の様子をインターネット(YouTube)で録画放映しています。「市政を問う」コーナーのQRコードから、ぜひご覧ください!

## あたらしい一歩

ドキドキとにっこりの鴨川小学校入学式

笑顔がいっぱいの鴨川認定こども園入園式



### 第85号の主な内容

- 第1回定例会
  - ・議員定数と委員会の見直し……………2
  - ・特別委員会(議員定数等)の報告……………3
  - ・議案質疑……………4
  - ・議案等に対する討論……………5
  - ・常任委員会の審査内容……………7
  - ・特別委員会(道路・広域)の報告……………11
  - ・一般質問……………12
  - ・議決結果・賛否の公表……………17
- 第1回臨時会……………19
- 中学生だより……………20



マチイロ

マチを好きになるアプリ

※広報紙をスマートフォンやタブレットで



# 鴨川市議会 新たなカタチへ変わります



## 議員定数が 18人から **16人**へ(2人削減)

令和7年第2回臨時会で本市の適正な議員定数等を調査研究することを目的に設置された鴨川市議会議員の定数等に関する調査特別委員会の調査結果に基づき、令和8年第1回定例会において、議員発議により議員定数を2人削減して16人とする発議案第25号が、賛成多数で可決されました。また、これに伴う常任委員会の設置、定数及び所管について見直しを行う発議案第26号が、全会一致で可決されました。なお、定数については、令和8年5月の一般選挙から適用になります。

### 1 議員定数の削減

発議案第25号 鴨川市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について

○改正内容 議員定数を 18人 → 16人 へ削減 ○施行時期 **令和8年5月の一般選挙から**

### 2 常任委員会の再編

発議案第26号 鴨川市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

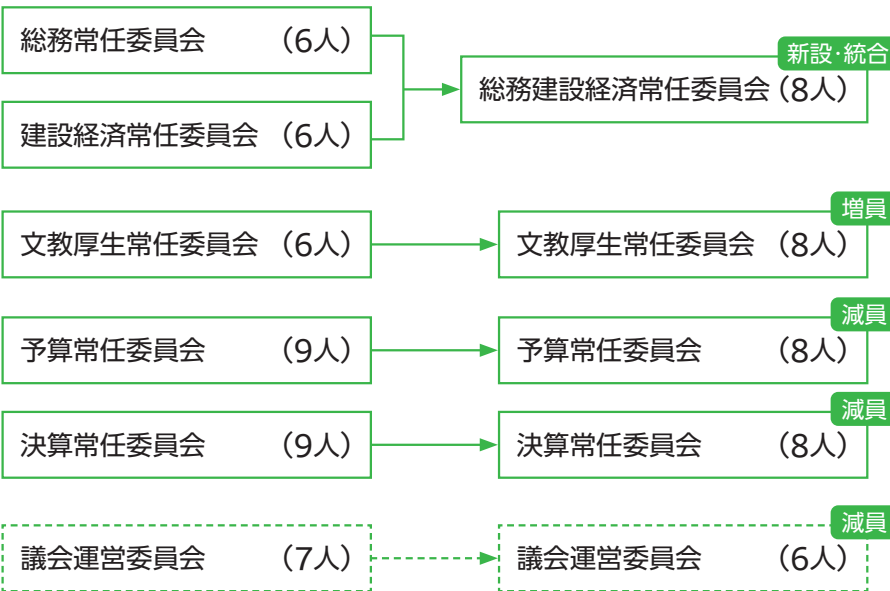
#### 【第1条】令和8年4月1日施行 市の新たな「課」体制による所管課の改正

市の行政組織において「部」の廃止に伴う「課」の設置 と 安房地域の水道事業統合による「水道課」の廃止によるもの。

#### 【第2条】令和8年6月1日施行 委員会の統合再編 5常任委員会から4常任委員会に統合

(改正前)

(改正後:6月1日以降)



#### 総務建設経済常任委員会

企画政策課・総務課・財政課・税務課・危機管理課・会計課・天津小湊支所・環境課・農林水産課・商工観光課・都市建設課・固定資産評価審査委員会・監査委員・選挙管理委員会・議会事務局・農業委員会・他の常任委員会の所掌に属さない事項

#### 文教厚生常任委員会

市民生活課・健康推進課・福祉課・子ども支援課・スポーツ振興課・学校教育課・生涯学習課・国保病院

※環境課は、文教厚生常任委員会から総務建設経済常任委員会へ  
※スポーツ振興課は、建設経済常任委員会から文教厚生常任委員会

鴨川市議会議員選挙の投票日は  
**5月24日(日)**です

任期満了に伴う市議会議員の選挙は、5月17日(日)告示、24日(日)投票です。議員の定数は16人、任期は4年です。

投票時間は、**午前7時から午後6時**までです。

【当日来られない方は「期日前投票」を】  
投票日に仕事やレジャー、冠婚葬祭などで投票所に来られない方は、期日前投票ができます。

■期間 5月18日(月)から23日(土)まで

■場所・時間

▽市役所4階会議室 午前8時30分から午後8時まで  
▽天津小湊支所 午前8時30分から午後5時まで

# 鳴川市議会議員の定数等に関する調査特別委員会

市議会では、将来にわたる持続可能な議会のあり方を検討するため、令和7年5月に議員の定数等に関する調査特別委員会を設置しました。本委員会は、正副議長を除く15名の委員で組織され、約9か月間にわたり、全国の類似団体との比較分析、近隣市町への視察、そして市民アンケートの結果などを踏まえ、慎重な調査研究を重ねてきました。

## 議員定数 次期選挙より「16人」に

委員会では、本市と人口と近い全国105市を対象に調査を行いました。その結果、鳴川市の現行定数18人は、類似団体の平均（16・7人）よりも若干多いことが判明しました。また、令和7年8月から実施した市民アン

ケート（回答数812人）では、回答者の約73%が「議員定数が多い」と回答しており、市民の皆様からも厳しい声が寄せられました。これらの状況を総合的に判断し、委員会では、多様な民意の反映と議会機能の維持を両立させるため、現行の18人から2人削減し、次期（令和8年度）の選挙より「16人」とするべきとの結論に達しました。

## 議員報酬 財政状況を鑑み「現状維持」

報酬については、定数削減に伴う一人あたりの活動量の増加や、将来の担い手確保の観点から「増額すべき」との意見も出されました。しかし、市が直面している経常収支比率102%という極めて厳しい財政状況を最

優先に考え、今回は「現状維持」とすることを決定しました。なお、定数2人の削減により、年間約1460万円の削減効果が見込まれています。

## 委員会構成 常任委員会を「1減」

定数16人体制への移行に伴い、少数での議論にならないよう、常任委員会の構成も見直します。

現行の常任委員会を統合し、「総務建設経済常任委員会」と「文教厚生常任委員会」（各定数8人）に再編し、より多角的な視点から議論を深められる体制を整えます。

## 市民に信頼される議会を

アンケートでは「議員の活動が見えにくい」というご意見も多数いただきました。定数削減によつて議会が弱体化することのないよう、議員一人ひとりがこれまで以上

に資質の向上に努め、活動の「見える化」を徹底していきます。議会はこれからも、地域民主主義の確立と市政の活性化に向け、たゆまぬ歩みを進めてまいります。



## 本特別委員会の活動経過

第1回委員会 令和7年5月2日(金)	◆正副委員長の互選
第2回委員会 令和7年5月12日(月)	◆前回の進め方とスケジュール等について ◆他自治体の状況について
第3回委員会 令和7年5月30日(金)	◆工程表(案)について 市民アンケートを実施することに決定。
第4回委員会 令和7年6月26日(木)	◆アンケート調査について アンケート調査の内容を協議。 議員定数の削減等を行った自治体へ視察研修を行うことを決定。
視察研修 令和7年8月4日(月)	◆議員定数に関する意見交換会 富津市議会及び鋸南町議会との意見交換会を実施。
市民アンケート 令和7年8月15日(金)～ 9月14日(日)	◆議員定数と報酬についての 市民アンケートを実施 (回答数812人)
第5回委員会 令和7年8月22日(金)	◆視察研修の報告について
第6回委員会 令和7年10月3日(金)	◆アンケート調査の取扱いについて ◆議員定数について 現行の18人から2人削減して 16人とする方針とした。
第7回委員会 令和7年11月6日(木)	◆議員報酬について
第8回委員会 令和7年11月26日(水)	◆議員報酬について 現状維持とする方針とした。 ◆委員会構成について
第9回委員会 令和7年12月18日(木)	◆委員会構成について 常任委員会及び議会運営委員会の 構成について方針を決定した。
第10回委員会 令和8年1月27日(火)	◆委員会報告書について 調査報告書について協議。



# 令和8年度一般会計予算など32議案を可決・同意

## 3月定例会

令和8年第1回定例会は、2月20日から3月17日までの26日間の会期で開かれました。

この定例会では、市長から提出された29議案と議員提出の3件の発議案を、すべて原案のとおり可決・同意しました。また、陳情2件を審査した結果、いずれも趣旨採択となりました。

2月25日・26日・27日には、10人の議員が登壇し、市政全般に関する一般質問を行いました。

また、3月2日には、庄司朋代議員・佐藤和幸議員・杉田至議員・本吉正和議員・秋山貢輔議員・入江裕二議員が議案に対する質疑を行いました。

### 議案に対する質疑

◎議案第9号 鴨川市総合運動施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 今後、鴨川市と勝浦市との共催でスポーツイベントや文化交流を行う可能性は。

答 本改正は、両市民が施設を利用しやすい環境を整えることが目的だが、今後は情報共有を図りながら、交流機会の創出に

ついて検討したい。

◎議案第14号 財産の無償譲渡について

問 江見老人憩の家の無償譲渡により、どのような地域活性化・高付加価値化を図るのか。

答 現在の源泉地と比べ、江見老人憩の家の源泉は安定供給が可能で泉質も異なり、鴨川温泉の多様化と観光振興に資する。

問 有償譲渡の検討は。

答 建物は法定耐用年数を10年以上超過し資産価値は極めて低く、維持管理費や法的責任も生じ

る。市が解体すれば約1230万円の公費負担が見込まれ、土地賃借料等も温泉組合負担となる。これらを総合的に勘案し無償譲渡とした。

問 無償譲渡後の市民への施設開放など、維持管理・運営に関する条件は。

答 観光振興施策への活用を指定用途とし、集会施設は市民の希望があれば支障のない範囲で貸出しを行う。市の承諾なく用途外使用や譲渡などを禁止する予定である。

問 市民が施設を使用する

る場合、使用料は発生するか。

答 電気・水道等の実費相当の負担をお願いしたい。

問 これまで本施設を使用してきた団体への代替施設の調整・合意形成は図られているか。

答 利用していた1団体と4月開館の江見地区公民館への移行について合意が図られている。



鴨川温泉旅館業協同組合に無償譲渡される旧江見老人憩の家

◎議案第15号 鴨川市過疎地域持続的発展計画を定めることについて

問 市民意見の聴取は。新総合計画の策定と

並行し、地区別懇談会・まちづくり市民会議・市民アンケートで意見収集し、計画案を策定。その後パブリックコメントを実施した。

問 本計画で新たに加わった主な取組は。

答 予約制乗合タクシー運行事業、天津小湊小・安房東中の空調設備更新工事、鯛の浦タイ生息地保存活用事業などである。

◎議案第16号 令和7年度鴨川市一般会計補正予算(第8号)

問 漁業用燃油価格高騰重点支援金について、前回実施した支援金に対する意見や課題と、今回への反映内容は。

答 制度への意見・要望は特になかったが、複数の漁船を使用するまき網漁を含む法人等は、燃料費が非常に多いことから課題が残った。今回は上限を撤廃し、幅広く経営安定を支援する制度とした。

**問** 前回10%に対し、今回5%とした根拠は。

**答** 日銀の国内企業物価指数等から物価上昇率を勘案し、燃料費等高騰分の補填として対象経費の5%を支援することとした。

◎議案第21号 令和8年度鴨川市一般会計予算

**問** 物価高騰対応電子ポイント事業について、他市が現金・商品券を採用する中、電子ポイントを選んだ経緯・予定業者・メリット・デメリットは。

**答** プッシュ型・用途限定・オンライン完結・効果検証のしやすさ等を重視し、電子ポイントを選択した。委託先はプロポータルで選定予定。メリットは、市内限定・期限設定・QR決済の利便性。デメリットは、アプリ費用・事業者側の機器対応などである。

**問** 高齢者等のデジタル難民への救済策は。また、現金給付を採用しな

かった理由は。

**答** 困難者にはバーコードカードを送付し、コールセンターの設置と高齢者向け等の説明会を行う予定。現金給付は用途・地域限定や効果検証が困難であるため。

**問** 事務費が給付額の約2割と高いと考えるが。

**答** プロポータルで経費を評価要素とし、選定後も業者と調整し安価な実施を目指す。

**問** 遊休施設の処分等について、財政健全化の観点から早期実施が効果的と思うが、時間的目標は。

**答** 民間活用を最優先とするが、需要がない施設は除却し更地活用も進める。令和22年度までに延床面積3万㎡以上削減としていく公共施設総合管理計画を時間的目標とする。

**問** 庁内プロジェクトチームによる検討結果は、予算に反映されているか。

また、この手法は今後も活用されるか。

**答** 遊休施設の除却に向けた検討により、旧吉尾小学校屋内運動場・青少年研修センターの解体設計委託料を令和8年度予算に計上した。庁内プロジェクトチームは、緊急対策の取組期間中継続し、今後にも必要に応じ活用する。



◎議案第21号 令和8年度鴨川市一般会計予算

反対 藤本 省幸 議員

学校給食の無償化は、小学校で始まるが、中学校では、第3子以降となっている。中学校の給食費は、令和6年度決算

では、3300万円あれば無償化を実現でき、子育て支援を掲げるのであれば独自の支援に動き出すべきである。

また、陸上競技場スタ

ンド屋根については、過去の経緯からも、何度も部分的な改修があり、屋根の補修予算を特に本市が遅れている生活道路の補修などに回すべきと考え、反対とする。

賛成 川股 盛一 議員

令和8年度は、次期総合計画のスタートとなる重要な1年であり、一般会計予算は、市民生活を支え、安心・安全なまちづくりを資する事業、将来の地域活性化に向けた投資に繋がる事業に積極的な配分がなされなければならぬが、厳しい財政状況にあっても、やらねばならない事業に對し、的確かつ、積極的な配分がなされている。

陸上競技場は、市民スポーツ活動の場のみならず、合宿誘致など地域振興施策においても重要な施設で、災害発生時の広域防災拠点としても指定されている。スタンド屋根の改修は、観覧者の快



改修されるワタレイスタジアムのスタンド屋根



◎議案第22号 令和8年度鴨川市国民健康保険特別会計予算

反対 藤本 省幸 議員

政府は、現役世代の負担軽減を掲げながら、4月からは被用者保険や国民健康保険など、全ての医療保険に子ども・子育て支援金を上乗せして徴収し、税でも保険料でもない新たな負担を、公的医療保険に紛れ込ませる極めて異例で筋違いの制度である。

医療と無関係の政策を保険料に上乗せする必然性はなく、子ども・子育て支援金は、国庫負担で対応すべきと考え、反対とする。

◎議案第23号 令和8年度鴨川市介護保険特別会計予算

反対 藤本 省幸 議員

昨年12月に策定された総合経済対策に基づく国の補正予算による処遇改善加算で少しは改善されるようであるが、医療・

介護事業者の物価高騰による費用増加や賃金引上げについても十分な財源を手当てしたとは言えず、事態は深刻化しかねない。また、引下げにより問題となった訪問介護基本報酬は見直されていないことから、これを元に戻すべきと考え、反対とする。

◎議案第24号 令和8年度鴨川市後期高齢者医療特別会計予算

反対 藤本 省幸 議員

後期高齢者医療制度にも、子ども・子育て支援金を上乗せしており、筋違いの制度であると考え、反対とする。

◎議案第25号 鴨川市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について

反対 福岡 梓 議員

特別委員会が設置されたのは任期残り1年を切ってから。1年未満の検討で定数削減という重大な決定を下すことは拙速であり、時間をかけた

丁寧な議論が必要。財政負担軽減の必要性は理解するが、手段は定数削減でなく議員報酬の削減で対応すべき。「議員の仕事が見えない」との市民意見が多数ある中、広報強化・議会の見える化が急務。16人に削減した議会で、開かれた議会活動を機能的に運営できるか疑問。議会は多様な声を受け止める人数が必要。定数削減の結論を出すのは時期尚早と考え、反対とする。

◎議案第27号 鴨川市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

反対 藤本 省幸 議員

16人にすることで議会が活性化するとは思えない。市民の多様な意見を吸い上げるためにも現状維持と考え、反対とする。

◎議案第27号 鴨川市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

反対 佐久間 章 議員

本市は2年連続で経常収支比率が100%を超

える状況にあり、また、市民アンケートでは、議員報酬の項目において、市民の生活状況や市の財政状況を反映したものであるとして、見直しや透明性の向上を求める意見も寄せられた。

◎陳情第14号 東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情

反対 藤本 省幸 議員

本件は、一般職の期末勤労手当の改定の趣旨に準じた改定を行おうとするものであるが、議会として対応方針を決定した時点から状況は変わり、常勤特別職の期末手当の改定が見送られる現状を考えた時、支給率を引き上げる改定を今行うべきではないと考え、反対とする。

◎議案第27号 鴨川市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

反対 藤本 省幸 議員

本市の財政状況は、かつてない極めて厳しい状況にある中で、本来なら職員の賃上げは、4月まで遡らなければならぬが、1月からである。地域手当も本来なら4%のところを2%に据え置くことで財政状況を乗り切

ろうとしているときに、議員の期末手当を引き上げることに賛同できないと考え、反対とする。

◎陳情第14号 東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情

反対 藤本 省幸 議員

政党に所属する議員や党員が、自治体職員に政党機関紙の購読を働きかけ、配達・集金する活動は、憲法で保障された政治活動であり、庁舎管理規則に抵触するような問題は生じていないとのことであった。また、自治体職員が様々な政党がどのような考えや政策を持っているかを把握するために、政党機関紙を購読することは何ら批判されるようなことではない。

◎議案第27号 鴨川市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

職員

職員の思想・信条の自由やプライバシー権の侵害にもつながりかねないことから、趣旨採択では

なく不採択とすべきと考え、反対とする。

## 常任委員会の 審査内容

各常任委員会に付託された議案の  
審査内容の主なものを掲載します。

### 予算常任委員会

◎議案第21号 令和8年度  
度鴨川市一般会計予算

**問 国の補助金により、給食費はどう変わるのか。**

**答** 令和8年度から小学校の給食費は無償化され、保護者の負担はなくなる。中学校は、第3子以降の無償化を継続する。給食



の質や量はこれまでどおり維持する。

**問 電子ポイント事業の実施に当たり、より低コストで、早期に支給することは可能か。**

**答** 電子ポイントの手法は多様であり、他自治体の事例も参考にしながら、できるだけ経費を抑え、迅速に支給できる方法について引き続き検討を進めていく。

**問 遊休施設活用等検討支援業務の経緯と内容は。**

**答** 太海フラワー磯釣りセンター跡地の観光活用を求める地元要望を受け、施設解体後のエリア全体について民間活用を図るため、条件整理など検討を行う業務である。

**問 衛生センター更新に向け、説明会の実績と今後は。**

**答** 地元関係者へ説明し、現地建替えについて了承を得ている。今後も進捗に応じて説明会を開催し、地域への丁寧な情報提供

を継続していく。

**問 飼料用米等拡大支援事業補助金の減額理由は。**

**答** 主食用米の価格上昇と流通の活性化により、飼料用米への転作が減少したため、補助対象面積が縮小したことによる。

**問 旧曾呂小学校及び旧曾呂幼稚園敷地の境界確定の必要性は。**

**答** 今後の民間活用を見据え、敷地境界や権利関係を明確にすることで、円滑な財産移管と利活用を可能にするため。



旧曾呂小学校

**問 各種計画策定時での必要性の検討とAI活用は。**

**答** 法令や近隣市町村の策定状況等を踏まえ、現行計画の成果も考慮し、策定の是非を検討している。AIは業務の効率化に有効な一方、精度や情報管理の課題があり、適切な運用ルール整備が必要である。

**問 人件費対策を含め予算の基本方針は。**

**答** 転任制度の導入や組織の見直し、職員数の適正化を進め、人件費の抑制と行政体制の効率化を図っている。歳入確保と歳出削減を柱に、広告収入拡大や事業の見直しを進め、持続可能な財政運営と健全化の両立を目指している。

## 討論

**反対** 陸上競技場スタンド屋根は3種公認の要件

外であり、耐風設計は満たすものの近年の異常気象では想定外の被害も懸念される。屋根がなければ補修リスクを減らし、その分の財源を生活道路整備などに充てられるため、財政面からも不要と考える。

### 附帯決議

◎議案第21号 令和8年度鴨川市一般会計予算に関する附帯決議

本市の財政状況は、經常收支比率が2か年連続で100パーセントを超過するとともに実質的な財源不足に陥るなど、市政施行以来、かつてない極めて厳しい危機的状況にあると言わざるを得ない。

市民福祉の一層の向上に資する安定的、持続的かつ効果的な行政サービスを将来に亘り提供しながら、安心・安全な暮らし満足度や生活水準向上のための社会資本整備の



充実、複雑かつ多様化する行政課題への的確な対応、並びに行財政運営に対する信頼を確保するため、特に令和8年度予算の執行について、下記のとおり要請する。

## 記

### 1 総括的事項

令和8年3月に改訂した「強い鴨川づくりに向けた財政等適正化基本方針」並びにこの方針を具現化するため併せて調製した「第3期実施計画（令和8年度～令和12年度）」に基づく全庁的な取組を一層強化すること。

特に、予算規模の抑制はもとより、経常的経費を中心とする歳出削減並びに適正な歳入確保を図りながら、事務・事業の執行に要する自主財源を捻出するなど、安定した財政基盤への構造転換に資する予算執行に徹すること。

### 2 個別事項

当初予算に計上された

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した「物価高騰対応電子ポイント事業」予算の執行にあたっては、当該交付金の所期の目的並びに交付の主旨を十分に精査・勘案し、次の諸点に特に配慮すること。

① 物価高騰に係る市民への経済的支援（以下「経済的支援」という。）については、電子ポイントの支給に固執することなく、高齢者等にも利用し易く簡素な方策にするとともに、店舗等事業者の精算手続き等にも過度の負担が掛からない方策とすること。

② 経済的支援は、全ての市民を対象として、スピード感を持ったプッシュ型の方策とすること。

③ 経済的支援に係る事務費等経費については可能な限り低減することとし、当該事業費の1割相当額以下までに縮減可能な方策とすること。

④ 経済的支援等、市民を対象としたデジタル化の推進にあつては、これまで整備してきた既存の構築システムの活用も十分に考慮すること。以上、決議する。

令和8年3月9日

鴨川市議会

予算常任委員会

## 総務常任委員会

◎議案第3号 鴨川市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について

問 インターネット公示の具体的な方法は。

答 市ホームページに電子掲示場を設けて掲載することを検討している。

問 インターネット上に氏名等の個人情報掲載するリスク対策は。

答 公示文書の画像化等の措置を検討している。

問 条例改正に伴うシステム改修費等の新たなコストが発生するのか。

答 既設の市ホームページ及び市掲示場への掲載

を予定しているので、新たなコストは発生しない。



鴨川市ホームページ

◎議案第4号 鴨川市特別職の職員で常勤のもの給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 条例の失効期限を1年毎としている理由は。

答 1年毎に財政状況等を見極めるためである。

◎議案第5号 鴨川市一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 地域手当の2分の1

削減など人件費の削減総額は。

答 人件費の令和8年度削減額は、地域手当の2分の1支給見送りで約4360万円、管理職手当の半額措置で1050万円、特別職の給料減額等で約529万円、総額で約5940万円の削減を見込んでいる。

◎議案第6号 鴨川市一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 削除される職務に該当する職員の処遇は。

答 医療職給料表（二）、級別基準職務表3級の3級の適用を受ける職員が3級の主任技師となる。

◎議案第7号 鴨川市ふるさぽーと基金条例の一部を改正する条例の制定について

問 寄附金の活用方針が実質的に変わるのか。

答 新たな第3次基本構想に定める「まちづくりの基本方針」に即した施

策分野の表現に改めるもので、実質的な活用方針が変わるものではない。

**問 基金への積立寄附金について、運用経費を控除した額とする理由は。**

**答** 寄附額が増えた場合の一般財源負担リスクを回避し、ふるさと納税制度を有効かつ安定的に運用するためである。



◎議案第12号 鴨川市議会議員及び鴨川市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について

**問 条例の改正理由は。**

**答** 近年の物価高騰や人件費等の上昇を踏まえ、公費負担の限度額を引き上げる公選法施行令の改正に準じたものである。

◎議案第15号 鴨川市過疎地域持続的発展計画を定めることについて

**問 計画策定協議の際、県から示された意見は。**

**答** 高温対策や気候変動への適応など、県の農林水産業施策との整合を図ることのほか、文言の追加・修正等の意見を頂いた。

◎陳情第14号 東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情

**趣旨採択意見**

ハラスメントは、相手の人格及び尊厳を侵す人権問題の一つであり、被害者の心身に影響を及ぼすとともに、行政機関内の当該行為は職務への支障にもつながり、ひいて

は行政サービスを低下させ、市民からの信用及び信頼を失墜させる行為である。

本市議会においては、これらを十分に認識し、ハラスメントの未然防止と根絶を図り、市民から信頼され、品格ある議会の実現に資するため、市議会自らが発議し、「鴨川市議会ハラスメント防止条例」を令和6年に制定・施行している。

また、当該条例の規定に基づくハラスメントの実態を把握するため、庁舎内へのアンケート調査を2度にわたり実施し、その根絶に努めているところであり、本市議会において、今般の陳情内容については既に取り組んでいる事項である。

よって、本件陳情については「趣旨採択」が適当であると考える。

### 建設経済常任委員会

◎議案第9号 鴨川市総

合運動施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

**問 市総合運動施設の使用料は、鴨川市民と勝浦市民は同じ扱いなのか。**

**答** 本条例の改正により、同額の料金が適用される。

**問 施設予約についても、鴨川市民と同じ扱いか。**

**答** 予約は、現行規定を適用し、鴨川市民は利用日の6か月前から、勝浦市民は市外の方として5か月前からの受付となる。

**問 本条例の自治体を勝浦市とした理由は。**

**答** 地理的に隣接し、生活圏や通学圏が重なる勝浦市とは、従前よりスポーツや文化活動において、相互の施設を利用し合っていた実績もあったことから、双方で市民活動の場の確保という観点から検討し、具体的な協議が整ったため。

**問 鴨川市民は勝浦市のどの施設を使用できるのか。また、メリットは。**

**答** 勝浦市芸術文化交流センター・キユステと勝浦市宮荒川テニスコートとなる。メリットは、文化活動とスポーツ活動の場が広域的に確保でき、利用機会の拡大や団体活動の活性化に加え、市民交流の促進につながる。



鴨川市総合運動施設



◎議案第10号 鴨川市小湊さとうみ学校の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

**問** 小湊さとうみ学校の勝浦市民の利用状況は。

**答** 令和7年4月から12月までの実績で、フットサルコートは2団体、延べ6回の利用で136人、体育館は1団体1回の利用で12人、合計148人。

**問** 勝浦市の対象施設を、鴨川市民が利用した場合の使用料はいくらに変更となるか。

**答** 一例として、勝浦市芸術文化交流センターキユステのホールを土・日・休日の昼間に1時間使用した場合、市外割増分の適用がなくなり、現行の9000円が、勝浦市民と同額の6000円となる。勝浦市菅荒川テニスコートでは、1面1時間利用した場合、現行1000円が、勝浦市民と同額の500円となる。



小湊さとうみ学校

**問** 勝浦市民の利用が増えることで、鴨川市民が利用しづらくなるのではないか。

**答** 鴨川市民の利用については、小湊さとうみ学校及び市内宿泊施設に宿泊する者を除き、市外利用者よりも10日早く利用許可申請を受付しており、市民の利用機会の確保に一定の配慮をしている。

今般の条例改正に伴う取扱いに変更はないので、直ちに市民への影響は出ないと考えている。

### 文教厚生常任委員会

◎議案第24号 令和8年度鴨川市後期高齢者医療特別会計予算

**問** 従来の被保険者証新規発行終了後の資格確認書の交付状況は。

**答** 令和6年12月2日の終了以降、令和8年7月末まで、暫定的にマイナ保険証の保有状況にかかわらず、全員に送付する。

**問** マイナ保険証は、薬剤の情報閲覧や高額療養費の手続き省略などメリットが大きく、利用促進を図るべきだが、令和8年8月の年次更新以降の職権交付に係る取扱いについては。

**答** 一律に資格確認書を職権交付する暫定的な運用は見直す。85歳以上の被保険者についてはマイナ保険証利用率が低く、

高い施設入所率等を踏まえ、引き続き資格確認書を職権交付する。84歳以下の被保険者については、直近1年間にマイナ保険証の利用が6回以上であり、かつ概ね直近3か月以内に利用実績がある場合は、資格情報のお知らせを交付する。この場合、被保険者や医療機関等で混乱が生じないように、個別への通知と広報誌への掲載などで周知する。

◎議案第25号 令和8年度鴨川市病院事業会計予算

**問** 診療報酬の改定について令和8年度予算に反映されているのか。

**答** 今後、厚生労働省告示が改正され、本年6月から施行されるスケジュールであり、今般の当初予算には反映させていない。必要に応じて補正予算を編成したい。

**問** 看護師を確保するための今後の方針は。

**答** 離職の減少方策とし

て、業務の一部を補助者にシフトし、本来の業務に集中させ、働きやすさの向上を図る。また、AIの導入により、管理職のマネジメント力を向上させ、職員が安心して相談できる体制づくりに取り組む。入職の増加方策として、働きやすさだけでなく、公立病院としての安定した雇用環境や、地域医療を支えるという社会的意義を積極的に発信するとともに、求人情報サイトを有効活用し、転職検討者に、素早く、的確に情報を発信し、入職に繋げる。

◎陳情第13号 保育士配置基準の引上げの早期完全実施とさらなる改善を求める意見書提出を求める陳情書

### 「趣旨採択」意見

本市においては、公立及び私立の認定こども園において要望された保育士の配置基準を満たしていることから、「趣旨採択」が適当である。

## 道路問題調査 特別委員会

# 地域活性化や 防災力強化のための道路整備を

本特別委員会は、広域幹線道路の整備に関する事項を調査するため設置され、委員8人により3年9か月にわたり調査研究を実施した。

活動では、運営方針に基づき、市内の国道・県道等の現状や今後の整備計画について把握するため、市担当者から複数回にわたり説明を受けるとともに、千葉県県土整備部安房土木事務所との協力のもと幹線道路の現地調査を実施し、課題の把握に努めた。

また、これらの調査を踏まえ、本市発展に資する重点路線の検討を行い、整備促進を求めて千葉県知事をはじめ関係機関に対し3回にわたり要望活動を実施し、意見交換を行った。

調査検討の結果、本市を含む南房総地域は交通アクセスの向上が進む一方、さらなる地域活性化や防災力強化のためには道路整備の一層の推進が不可欠であるとの認識に至った。



主基交差点改良の現地視察

このため、本委員会では、①交流と連携を促進する道路整備、②地域の安心・安全を確保する道路整備、③快適性・利便性を高める道路整備の3つの視点から提言を取りまとめた。

今後は、総合計画との整合を図りつつ整備の優先順位を明確化し、国・県への働きかけを強化するとともに、市民や関係団体と連携した継続的な取組が必要であり、新たな体制となる常任委員会において、引き続き調査研究していくことが望ましいと考える。

## 広域行政調査 特別委員会

# 令和8年4月から 水道事業が安房地域で統合・広域化

令和4年6月に設置された本特別委員会は、多様化する行政需要に効率的に対応するため、ごみ処理や水道、消防などの広域行政に関する諸課題や推進方策について、総合的な調査研究を行ってきた。活動期間中、全9回の会議開催に加え、火葬場や消防本部への行政視察を実施し、市民生活に直結する重要課題について議論を重ねた。

ごみ処理事業では君津地域4市を含む6市1町での事業を推進し、令和9年4月の新施設稼働に向けた整備が進んでいる。

水道事業については、人口減少に伴う給水収益の減少や施設の老朽化等の課題から統合・広域化に向けた協議等が進められ、令和8年4月から安房地域の事業を統合し、経営基盤を強化することで、将来にわたり安全な水を安定供給できる体制が構築される。

一方で、施設の耐用年数が迫り、老朽化が著しく自

然災害時の懸念もある長狭地区火葬場の今後の在り方については、市民の民意を把握しながら優先的に検討すべき最重要課題である。その他広域消防や観光、医療圏の連携などの継続課題についても調査・研究を要する。

今後は、常任委員会の再編や市議会の改選などから火葬場事業など各課題に対し、特別委員会の枠組みを超え、議会が一体となり課題解決に向けた取組を行うっていく必要があると考える。



長狭地区火葬場の現地視察



## 問 子ども達に夢と教育を育む文化のまちづくりは

答 教育振興で学校、家庭、地域、行政が様々な支援を



明政会  
高橋和夫 議員



一般質問  
録画放映

令和8年度から5年間の鴨川市教育振興計画を策定し、その理念を「夢と学びを育む教育文化のまち〜一人ひとり、みんなが輝く鴨川教育〜」と掲げ、市教育の大きな羅針盤としている。

問 第4期鴨川市教育振興計画は。

答 子どもから大人まで一人ひとり、みんなが輝く鴨川教育を目指し計画に取り組んでいる。

学校・家庭・地域の連携・協力による教育力の向上や学習、読書活動、文化芸術、スポーツ、レクリエーションなど多くのものに触れる機会を増やし、行政として取組を進める。

問 市の教育をめぐる多くの取組は。

答 学校教育は、幼児教育・義務教育の充実、学校教育

環境の整備充実、学びのセーフティネットの構築、安全・安心な学びの場づくりをする。生涯学習は、多彩な学習活動の促進、社会教育関連施設の充実、読書・学習環境の充実、文化・芸術の振興、青少年の健全育成、親が育つ環境づくりに取り組む。

人は、生涯を通じて様々なことを学びながら成長する。本市の子どもたち一人ひとりが、夢や希望を持って学べるよう、また、一人でも多くの市民の方々に、生きがいを感じられる学びの機会を提供できるよう、教育行政を推進する教育委員会一丸となって責務を果たす。



## 問 漁業者の所得等を中長期的に支える基金創設の考えは

答 議員提案を踏まえ、漁協と協議し振興施策を実施する



無所属  
佐藤和幸 議員



一般質問  
録画放映

漁業振興施策

問 ふるさと納税を漁業振興財源とした基金創設などの検討はできないか。

答 これまでも水産業振興補助事業に、ふるさぽーと基金からの繰入金を活用し、ガバメントクラウドファンディングの実施もしてきたが、寄附額にばらつきがあり、安定財源化は困難。

提言

ふるさと納税等の外部財源を活用し、不漁時に発動する基金が必要。リスクに備える制度こそ自治体の意思表示であり、市独自の所得安定制度の検討を強く要望する。

メガソーラー計画

問 F I T認定が失効した具体的な理由と時期は。

答 令和5年3月の失効期限に対し延長手続はあ

ったが、系統連携手続の不備により遡って無効と判断された。

問 F I P又はNon-F I Tで継続する場合、林地開発許可の再申請が必要と考えるが。

答 県はF I T認定失効を重要事象とし資金計画再提出を求めており、今後は必要に応じた手続きが行われると考える。

問 本事業に対する今後の対応方針は。

答 違反状態の解消、残地森林の現状復旧、安全確保と協定遵守等の課題の解決がされるまで再開は認められない。



一般質問で提案した制度のイメージ

## 問 完全米飯給食の実施について

答 週3米飯・週2パンの現行を維持する

提案  
答弁に保護者の声が反映されていない。南房総市の完全米飯給食は肥満・残食減少の成果を上げてお

地産地消も推進している。

優先する。なお、米はすべて鴨川産コシヒカリを使用

しており、残食データでも米より少なく、子どもからも支持されている。③地元パン職人が作るパンを提供し

ており、食材の質向上を文化理解は教育的意義がある。②パンは栄養面で優れており、残食データでも米

より少なく、子どもからも支持されている。③地元パン職人が作るパンを提供し

ており、食材の質向上を文化理解は教育的意義がある。②パンは栄養面で優れており、残食データでも米より少なく、子どもからも支持されている。③地元パン職人が作るパンを提供し

ており、食材の質向上を文化理解は教育的意義がある。②パンは栄養面で優れており、残食データでも米より少なく、子どもからも支持されている。③地元パン職人が作るパンを提供し



無所属  
福岡 梓 議員



一般質問  
録画放映



り、鴨川市でも同様の効果が期待できる。南房総地域で週2日パン食は鴨川市のみ。長狭米ブランドを持ちながらこの現状は疑問であり、JAからも買い支え要望がある。富津市はJA要望を受けパンを週1回から月2回へ柔軟に対応した。保護者アンケートの早期実施を求める。これは教育委員会だけの問題でなく、市長をはじめ市全体で農業・食育・地域振興を横断的に議論すべき。実証実験としてパン食を週1回または月2回に減らすことを提案する。

り、鴨川市でも同様の効果が期待できる。南房総地域で週2日パン食は鴨川市のみ。長狭米ブランドを持ちながらこの現状は疑問であり、JAからも買い支え要望がある。富津市はJA要望を受けパンを週1回から月2回へ柔軟に対応した。保護者アンケートの早期実施を求める。これは教育委員会だけの問題でなく、市長をはじめ市全体で農業・食育・地域振興を横断的に議論すべき。実証実験としてパン食を週1回または月2回に減らすことを提案する。

り、鴨川市でも同様の効果が期待できる。南房総地域で週2日パン食は鴨川市のみ。長狭米ブランドを持ちながらこの現状は疑問であり、JAからも買い支え要望がある。富津市はJA要望を受けパンを週1回から月2回へ柔軟に対応した。保護者アンケートの早期実施を求める。これは教育委員会だけの問題でなく、市長をはじめ市全体で農業・食育・地域振興を横断的に議論すべき。実証実験としてパン食を週1回または月2回に減らすことを提案する。

り、鴨川市でも同様の効果が期待できる。南房総地域で週2日パン食は鴨川市のみ。長狭米ブランドを持ちながらこの現状は疑問であり、JAからも買い支え要望がある。富津市はJA要望を受けパンを週1回から月2回へ柔軟に対応した。保護者アンケートの早期実施を求める。これは教育委員会だけの問題でなく、市長をはじめ市全体で農業・食育・地域振興を横断的に議論すべき。実証実験としてパン食を週1回または月2回に減らすことを提案する。

## 問 本市の顧客ハラスメント対策について

答 組織的な対策を行うこととして、担当部署に指示した

必要環境整備を図る。

令和8年4月1日から行政組織が改定されるが、今回の組織改編が、現在、策定が進められている、第3次鴨川市総合計画、鴨川市第5次5か年計画を考慮したものになっているのか、組織改編について伺う。

必要環境整備を図る。令和8年4月1日から行政組織が改定されるが、今回の組織改編が、現在、策定が進められている、第3次鴨川市総合計画、鴨川市第5次5か年計画を考慮したものになっているのか、組織改編について伺う。

必要環境整備を図る。令和8年4月1日から行政組織が改定されるが、今回の組織改編が、現在、策定が進められている、第3次鴨川市総合計画、鴨川市第5次5か年計画を考慮したものになっているのか、組織改編について伺う。

必要環境整備を図る。令和8年4月1日から行政組織が改定されるが、今回の組織改編が、現在、策定が進められている、第3次鴨川市総合計画、鴨川市第5次5か年計画を考慮したものになっているのか、組織改編について伺う。

必要環境整備を図る。令和8年4月1日から行政組織が改定されるが、今回の組織改編が、現在、策定が進められている、第3次鴨川市総合計画、鴨川市第5次5か年計画を考慮したものになっているのか、組織改編について伺う。

必要環境整備を図る。令和8年4月1日から行政組織が改定されるが、今回の組織改編が、現在、策定が進められている、第3次鴨川市総合計画、鴨川市第5次5か年計画を考慮したものになっているのか、組織改編について伺う。

必要環境整備を図る。令和8年4月1日から行政組織が改定されるが、今回の組織改編が、現在、策定が進められている、第3次鴨川市総合計画、鴨川市第5次5か年計画を考慮したものになっているのか、組織改編について伺う。



自由民主至誠会  
川股盛二 議員



一般質問  
録画放映

本庁舎ご案内	
7F	会議室
6F	
5F	議場 傍聴席 委員会室 議長室 議員控室 議会事務局
4F	危機管理課 選挙管理委員会事務局 監査委員事務局 記者クラブ
3F	市長室 副市長室 秘書広報室 企画政策課 総務課 官財契約課 財政課
2F	商工観光課 環境課 農業委員会事務局 農林水産課 都市建設課 情報推進室
1F	市民生活課 総合窓口 会計課 指定金融機関 税務課 ふるさとハローワーク 市政情報コーナー

必要環境整備を図る。令和8年4月1日から行政組織が改定されるが、今回の組織改編が、現在、策定が進められている、第3次鴨川市総合計画、鴨川市第5次5か年計画を考慮したものになっているのか、組織改編について伺う。

必要環境整備を図る。令和8年4月1日から行政組織が改定されるが、今回の組織改編が、現在、策定が進められている、第3次鴨川市総合計画、鴨川市第5次5か年計画を考慮したものになっているのか、組織改編について伺う。

必要環境整備を図る。令和8年4月1日から行政組織が改定されるが、今回の組織改編が、現在、策定が進められている、第3次鴨川市総合計画、鴨川市第5次5か年計画を考慮したものになっているのか、組織改編について伺う。

必要環境整備を図る。令和8年4月1日から行政組織が改定されるが、今回の組織改編が、現在、策定が進められている、第3次鴨川市総合計画、鴨川市第5次5か年計画を考慮したものになっているのか、組織改編について伺う。

必要環境整備を図る。令和8年4月1日から行政組織が改定されるが、今回の組織改編が、現在、策定が進められている、第3次鴨川市総合計画、鴨川市第5次5か年計画を考慮したものになっているのか、組織改編について伺う。

必要環境整備を図る。令和8年4月1日から行政組織が改定されるが、今回の組織改編が、現在、策定が進められている、第3次鴨川市総合計画、鴨川市第5次5か年計画を考慮したものになっているのか、組織改編について伺う。

必要環境整備を図る。令和8年4月1日から行政組織が改定されるが、今回の組織改編が、現在、策定が進められている、第3次鴨川市総合計画、鴨川市第5次5か年計画を考慮したものになっているのか、組織改編について伺う。



## 問 太陽光発電施設新設に係る規制を含めた方針は

答 要綱の制定に取り組んだが国や県の動向を見て対応



自由民主至誠会  
佐久間章 議員



一般質問  
録画放映

問 多くの自治体で景観法や独自条例による規制が進められているが本市の方針は。

答 事業そのものの規制ではなく、事業実施に際して、市民の安全・安心を確保して、地域との共生を図ることを主眼に置き、国の定める再エネ特措法から適用除外の事業について、説明会を開催求める要綱の制定に向けて取り組んできた。

国や県の制度改正や条例制定の動向を把握し、市の実情に即した適切な対応を行っていく。

問 制定の予定はいつか。

答 要綱の作成を進めて来たが、制定するかは未定である。

問 市民は、太陽光発電施設の新設に関し市に何を求めていると考えるか。

答 市民の安心・安全を確保して、地域との共生を図ることを念頭に、事業に対応していくことを求めていると考えている。

### 提言

市内には地滑り防止区域等設置になじまない地域が多数存在する。千葉県内54市町村中、何らかの規制を設けていないのは、本市を含め9市町である。要綱を作成したのであれば、財産権は尊重しなければならぬが、ゾーニングによる調和のとれたまちづくりを求め早期の施行が望まれる。



## 問 県営鴨川漁港を浚渫した場合の市や漁協の負担は

答 国が50%、県が45%、市が4%、漁協が1%である



無所属  
本吉正和 議員



一般質問  
録画放映

鴨川漁港の浚渫について

問 鴨川漁港の小寄区泊地は、土砂が堆積し、水深が2mを切る場所もあり、まき網船や定置網船の船底が海底と接触し、船の航行に支障をきたす危険な状況が生じている。漁協は県に実情を訴え、県は水深等を調査中で近々調査結果が出る予定だという。市は、この事態をどう捉え、漁港の浚渫について、国や県にアプローチをしていくのか。

答 小寄区泊地は、平成28年に浚渫を実施したが、経年による土砂の堆積が懸念される。漁港は、安全で円滑な運営がなされなければならぬので、鴨川市漁協と共に県に働きかけていく。

問 加茂川河口部の閉塞について

答 加茂川河口部には護岸があることから、作業を行う重機の進入路がなく、県は市と協議の結果、令和8年度早期に工事を開始するという。今後も、河口閉塞の解消に向けた堆積土砂の定期的な浚渫と抜本的な閉塞対策に関する調査等の実施を県に強く求めていく。



閉塞している加茂川河口部

## 問 会員登録数、利用者数も増え、来年度以降の方向性は

答 運行区域の拡大や運行時間の見直しを検討していく

問 各地域の利用者は。  
 答 令和8年1月にカモガワシーサイドベース、伊藤胃腸科クリニックの2か所が追加され、現在の共通乗降場所は93か所となっている。

問 新たに追加された乗降場所は。  
 答 令和8年1月にカモガワシーサイドベース、伊藤胃腸科クリニックの2か所が追加され、現在の共通乗降場所は93か所となっている。

問 本格運行前と比較し会員登録数の変化は。  
 答 令和8年1月時点の登録者数は、令和7年3月末時点との比較で、長狭地域は962人で、13人増、江見地域は374人で、40人増、天津小湊地域は469人で、35人増と、3地域とも増加しており、全体では令和7年3月末時点の1717人から1805人へと88人の増となっている。

問 会員登録数、利用者数も増え、ドライバーの昼休憩時間を確保しながら、来年度以降の運行と体制は。  
 答 運行区域の拡大や運行時間の見直しを求める意見を頂いており、事業者と見直しを検討し、地域公共交通会議で協議をしていく。

乗合タクシー「チョイソコかもがわ」について



日本共産党  
藤本省幸 議員



一般質問  
録画放映



問 本年1月時点の数値で、長狭地域が1721人で、前年同時期比で92・0%、江見地域が1147人で、119・4%、天津小湊地域が1394人で、114・4%。全体では4262人で、105・2%となっている。

問 会員登録数、利用者数も増え、ドライバーの昼休憩時間を確保しながら、来年度以降の運行と体制は。  
 答 運行区域の拡大や運行時間の見直しを求める意見を頂いており、事業者と見直しを検討し、地域公共交通会議で協議をしていく。

## 問 いじめ相談体制の種類は

答 教育相談、SOS出し方教育、相談箱など6種類ある

問 これらの実態に対応したいじめ防止対策・活動成果と課題は。  
 答 管理職、教務主任、生徒指導・養護教諭から成る組織を設置。スクールカウンセラー等と連携を図る。日常の観察、アンケート等により把握。成果は、いじめを早期に認知出来、速やかに解消に。

問 小・中学校のいじめの実態は。  
 答 7年度では、小学校161件、中学校15件。いじめの態様は、冷やかしゃ悪口・叩かれる行為、中学ではSNSでの中傷が多くなっている。内8件が経過観察中等である。

問 SNSでのいじめは。  
 答 小学校高学年から中学生で増えてきている。

問 リーダーマニュアルの完成予定は。  
 答 令和8年度の出来るだけ早い時期に完成へ。

鴨川市いじめ防止等対策について



公明党  
福原三枝子 議員



一般質問  
録画放映



いじめの早期発見！  
©KOMEITO

問 スクールカウンセラーの配置不足の対策は。  
 答 市内で派遣の対応や小学校にも、毎週配置を県教育委員会に要望。

問 SNSスマホ等の扱いは。  
 答 現在、規制はないが、職員室に預けるなどのルールを設けている。

問 自主防災組織等の支援について  
 答 令和8年度の出来るだけ早い時期に完成へ。



## 問 学校統合の対象は

答 市内の小中学校全体、オール鴨川を視野に包括的に

- 問** 市長の施政方針より
- 答** 大海フラワー磯釣りセンターについて、除却業務の進捗、費用概算は。
- 問** 8億3000万円を縮減見直しし、複数年にわたる解体についても検討中。
- 答** 跡地活用について地権者の意見は、「稼ぐ」事を念頭に検討するのか。
- 問** 大半が借地。地権者は活用継続の意向で、地域・地権者と共に「稼ぐまちづくり」を進める。
- 答** ふるさと納税について、寄附額目標10億円分の返礼品は、確保しているか。今後の研究は。
- 問** 生産・供給基盤の強化や担い手の確保、ブランド化を進める。
- 答** 市長の「積極的なトップセールス」とは。
- 問** 企業訪問、各種団体会



かもがわ倶楽部  
庄司朋代 議員



一般質問  
録画放映



除却される大海フラワー磯釣りセンター

- 合のほか、ネットテレビでもふるさと納税をPR。
- 問** 学校統合について
- 答** 6月の一般質問で、学校統合ロードマップを策定するとの答弁だった。年度内に公表できるか。
- 問** 3月中に公開する。
- 答** 市民や周辺住民の意見聴取は記載されるか。
- 問** 説明会等を視野に盛り込む。
- 答** 統合の時期は。
- 問** 可能な限り速やかに実施したい。

## 問 住民に一番近い行政として地元の声を県や国に伝えて

答 県と国と連携し、有識者会議の意見を参考に取組む

- 問** メガソーラー問題
- 答** 国の再生可能エネルギー固定価格買取制度(FIT)の認定失効に係る事業者の収益性が大幅に低下し計画の継続が困難とならないか。
- 問** 資金計画は県と共に求めており、有識者会議でもFIT認定失効の影響、許可時には想定していなかった残地森林の復旧費用及び地下水に対応する工法に要する費用等が生じるため、これらの工事等が適切に実行されるためにも、事業に係る資金計画について、将来を見据えて確認していくことが必要であると意見が出されている。
- 問** 県の有識者会議で指摘された現場の脆弱な不安定土壌での植林復旧は大丈夫か。
- 答** 違反伐採された残置森



無所属  
入江裕一 議員



一般質問  
録画放映



メガソーラー伐採現場と民家

**要** 地元行政として「ドローン購入」を要望する。残置森林の違法伐採発見は、ドローン撮影の市民ボランティアのお手柄であった。広大な現地確認の作業効率を上げ、他にも災害時の情報収集、インフラの点検や観光プロモーション撮影、海水浴場の上空監視等、業務の効率アップと働き方改革に非常に有効と考える。

# 定例会議案等議決結果

## 【市長提出議案】

議案番号 (掲載ページ)	件名	付託先 委員会	委員会の 審査結果	本会議の 議決結果
議案第3号 (8ページ)	鴨川市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について	総務	可決	可決 全会一致
議案第4号 (8ページ)	鴨川市特別職の職員で常勤のものの給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務	可決	可決 全会一致
議案第5号 (8ページ)	鴨川市一般職の職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	総務	可決	可決 全会一致
議案第6号 (8ページ)	鴨川市一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務	可決	可決 全会一致
議案第7号 (8ページ)	鴨川市ふるさぽーと基金条例の一部を改正する条例の制定について	総務	可決	可決 全会一致
議案第8号	鴨川市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	可決	可決 全会一致
議案第9号 (4・9ページ)	鴨川市総合運動施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	建設経済	可決	可決 全会一致
議案第10号 (10ページ)	鴨川市小湊さとうみ学校の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	建設経済	可決	可決 全会一致
議案第11号	鴨川市青少年研修センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について	文教厚生	可決	可決 全会一致
議案第12号 (9ページ)	鴨川市議会議員及び鴨川市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務	可決	可決 全会一致
議案第13号 (18ページ)	事業契約の変更契約の締結について（第2期若津地域広域廃棄物処理事業）	文教厚生	可決	可決 全会一致
議案第14号 (4ページ)	財産の無償譲渡について	文教厚生	可決	可決 全会一致
議案第15号 (4・9ページ)	鴨川市過疎地域持続的発展計画を定めることについて	総務	可決	可決 全会一致
議案第16号 (4ページ)	令和7年度鴨川市一般会計補正予算（第8号）	付託省略		可決 全会一致
議案第17号	令和7年度鴨川市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	付託省略		可決 全会一致
議案第18号	令和7年度鴨川市介護保険特別会計補正予算（第3号）	付託省略		可決 全会一致
議案第19号	令和7年度鴨川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	付託省略		可決 全会一致
議案第20号	令和7年度鴨川市水道事業会計補正予算（第2号）	付託省略		可決 全会一致
議案第21号 (5・7ページ)	令和8年度鴨川市一般会計予算	予算	可決	可決 賛成多数
議案第22号 (6ページ)	令和8年度鴨川市国民健康保険特別会計予算	文教厚生	可決	可決 賛成多数
議案第23号 (6ページ)	令和8年度鴨川市介護保険特別会計予算	文教厚生	可決	可決 賛成多数
議案第24号 (6・10ページ)	令和8年度鴨川市後期高齢者医療特別会計予算	文教厚生	可決	可決 賛成多数
議案第25号 (10ページ)	令和8年度鴨川市病院事業会計予算	文教厚生	可決	可決 全会一致
議案第26号 (18ページ)	鴨川市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	付託省略		可決 全会一致
議案第27号 (18ページ)	鴨川市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	付託省略		同意 全会一致
議案第28号	鴨川市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	付託省略		同意 全会一致
議案第29号	鴨川市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	付託省略		同意 全会一致
議案第30号	鴨川市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	付託省略		同意 全会一致
議案第31号	鴨川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	可決	可決 全会一致

## 【議員提出議案】

発議案番号 (掲載ページ)	件名	付託先 委員会	委員会の 審査結果	本会議の 議決結果
発議案第25号 (2・6ページ)	鴨川市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について	付託省略		可決 賛成多数
発議案第26号 (2ページ)	鴨川市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	付託省略		可決 全会一致
発議案第27号 (6ページ)	鴨川市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	付託省略		可決 賛成多数



【報告】

報告番号	件名	付託先 委員会	委員会の 審査結果	本会議の 議決結果
報告第1号	専決処分の報告について(損害賠償の額の決定及び和解)			

【陳情】

陳情番号 (掲載ページ)	件名	付託先 委員会	委員会の 審査結果	本会議の 議決結果
陳情第13号 (10ページ)	保育士配置基準の引上げの早期完全実施とさらなる改善を求める意見書提出を求める陳情書	文教厚生	趣旨採択	趣旨採択 全会一致
陳情第14号 (6・9ページ)	東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情	総務	趣旨採択	趣旨採択 賛成多数

議員の議案等に対する賛否表

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	議決年月日	結 果	賛 成	反 対
	福岡 梓	石川 弘白三	入江 裕一	高橋 和夫	藤本 省幸	秋山 貢輔	長谷川 倫秀	松井 寛徳	本吉 正和	杉田 至	佐藤 和幸	空 席	川股 盛二	川崎 浩之	佐久間 章	福原 三枝子	庄司 朋代	鈴木 美一				
議案第21号 令和8年度鴨川市一般会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	R8.3.17	原案可決	15	1
議案第22号 令和8年度鴨川市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	R8.3.17	原案可決	15	1
議案第23号 令和8年度鴨川市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	R8.3.17	原案可決	15	1
議案第24号 令和8年度鴨川市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	R8.3.17	原案可決	15	1
発議案第25号 鴨川市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	×	-	○	○	○	○	R8.3.2	原案可決	12	4
発議案第27号 鴨川市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	-	×	○	○	○	R8.3.17	原案可決	11	5
陳情第14号 東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	R8.3.17	趣旨採択	15	1

※ ○は賛成、×は反対、欠は欠席、退は退席(棄権)、除は除斥、遅は遅刻、早は早退、「-」は議長を表します。  
 (注) 1. 議長は、過半数議決の場合は表決に加わりません。ただし、可否同数の場合は裁決権を行使します。また、特別多数議決の場合は、議長は議員として表決権を有しています。  
 (注) 2. 除斥とは、議会の審議における審議の公正を期するため、審議事件と一定の利害関係を有するため審議に参加することができない議員です。



((株)上総安房クリーンシステム提供)

富津市で整備が進む広域ごみ処理施設  
(令和8年3月25日時点)

令和9年4月に稼働開始予定の第2期君津地域広域廃棄物処理事業

◎議案第13号

●教育委員会委員の任命について  
石井 千枝氏(3月31日再任)

◎議案第27号



●教育委員会教育長の任命について  
蒔苗 茂氏(4月1日再任)

◎議案第26号

## 第1回臨時会

陸上競技場第3種公認改修工事に係る  
工事請負契約の変更契約の締結など2議案を可決・承認

令和8年第1回臨時会は、1月27日の1日の会期で開かれました。  
この臨時会では、市長から提出された2議案を、すべて原案のとおり  
可決・承認しました。  
なお、本吉正和議員・松井寛徳議員が議案に対する質疑を行いました。

### 議案に対する質疑

鴨川市一般会計補正

◎議案第1号 工事請負契約の変更契約の締結について(陸上競技場第3種公認改修工事)

問 スポーツ振興くじ助成金は、年度内の工事完了が条件とのことだが、進捗状況は。

答 全体の工期について、施工業者と協議した中で、工期内の完了を確認しており、変更部分についても議決後、早急に着手等を指示していきたい。

◎議案第2号 専決処分  
の承認を求めること  
について(令和7年度

問 衆議院議員選挙費の郵便料について、選挙期間が短く、投票所入場券の発送が全国的に遅れているとの報道があるが、本市の発送状況は。

答 現時点で郵便局へ持込みが完了し、期日前投票が開始される翌日には配達完了する予定。

問 入場券の遅れに関する市民への周知は。

答 現在、市ホームページに投票所入場券が遅れる旨を記載している。またSNSや防災行政無線での周知を行い、新聞でも記事が掲載される予定。

## 臨時会議案議決結果

【市長提出議案】

議案番号	件名	付託先委員会	委員会の審査結果	本会議の議決結果
議案第1号	工事請負契約の変更契約の締結について(陸上競技場第3種公認改修工事)	付託省略		可決 全会一致
議案第2号	専決処分の承認を求めることについて(令和7年度鴨川市一般会計補正予算(第7号))	付託省略		承認 全会一致

## 姉妹都市 身延町議会と交流

2月12日、13日の2日間、姉妹都市である山梨県身延町から、伊藤議長をはじめとする身延町議会議員の皆様と望月町長、執行部の方々をお迎えしました。

身延町とは、日蓮聖人ゆかりの地として、旧天津小湊町と旧身延町が昭和46年に姉妹都市協定を締結し、平成20年に新たな協定を締結して以来、議会改選ごとに相互訪問を行い、議員同士の親睦と情報交換を重ねてきました。今回は新型コロナウイルスの影響で中止となりましたが、今回、令和初となる待望の来訪が実現しました。

滞在中、歓迎対面式や交流会を開催し、意見交換や情報交換を行ったほか、13日には「事業シートの活用について」をテーマとした視察研修が行われ、両市町の親睦を深めました。



※議会用語、行政・財政用語等の解説は、こちら



# 中学生 だより 40

このコーナーでは、市内の中学生の日ごろ感じていることや将来の夢などを紹介します。鴨川市議会は、そういった思いを後押ししていきます。



長狭中学校  
3年  
池田 優心さん

## 豊かな生活をするために

僕は、お金に不自由しない生活を送りたいという夢があります。そのためには、ただお金を稼ぐだけではなく、お金について正しく知ることが大切だと思います。世の中には、収入が多くても苦しい生活をしている人がいると聞いたことがあります。その理由のひとつが「お金の使い方」にあると考えます。

だからこそ、お金について学ぶことは大切だと思います。「本当に必要なのか」を考えたり、お金の貯め方や増やし方などを今のうちに知ったりすることが自分の生活を守る力になります。自分の人生を豊かにするために、今のうちから経済の仕組みやお小遣いの管理の仕方などを学び、夢に近づけるよう努力したいです。



鴨川中学校  
3年  
齋藤 拓海さん

## 感謝を胸に、めざす先にあるもの

僕が住む鴨川の良い所は、冬になると、海が透き通っていてとても美しく、年に数回ビーチクリーンもしていて、海岸もきれいです。自然が豊かなだけでなく、たくさんの人達の優しさも感じられます。

僕はサーフィンをしています。いつも優しく丁寧に教えてくれるショップやプロの方々、ライディングを撮影してくれているカメラマンの方々、このような素晴らしい環境の中で大好きなサーフィンができることに感謝しています。将来は、日本でも海外でも通用するプロサーファーになりたいと思っています。

今、僕は鴨川中学校に通学し、充実した日々を過ごしています。鴨川の地とたくさんの人との出会いを大切に、これからも精一杯サーフィンや学業などを頑張りたいと思います。

# 市議会を見る

改正後の初議会となる定例会は  
**6月9日(火)**開会予定です

市役所  
議場

しゅわ

一番のおすすめは、議場の傍聴席。団体・グループでの傍聴もできます。また、議場にて議案等の貸し出しを行っています。

市役所  
1F 市政情報コーナー

きんげん

正面玄関から入ってすぐ左手。モニターで生中継がご覧になれます。

## ご家庭

しんぢん

インターネット (YouTube) でライブ中継や録画映像をご覧になれます。

鴨川市議会 検索

お問い合わせは議会事務局まで。  
電話 04-7093-7825  
FAX 04-7093-7848

## 会議録の閲覧

いつでも

過去の会議録は、市議会ホームページや図書館、公民館でご覧ください。

令和8年第1回定例会の会議録は、6月中旬ごろ掲載予定です。

議会だよりをわかりやすくお読みいただくための議会用語、行政・財政用語等の解説はこちら



議会広報委員会				
委員	副委員長	委員	委員	委員
石川 弘白三	入江 裕一	高橋 和夫	藤本 省幸	川崎 浩之
福原 三枝子	佐藤 和幸	福岡 和幸	福岡 和幸	福岡 和幸

市民の皆様、そして「議会だより」をご愛読いただいております皆様、心より感謝申し上げます。議会広報委員会は2年前、「議会広報編集委員会」から現在の名称へと改称いたしました。幅広い広報活動を通じて議会をより市民の皆様が開かれた存在とするという決意の表れでもありました。委員一同その思いを胸に活動を続けたこの2年間の任期を終えるにあたり、温かく見守りご支援いただいた皆様に深く感謝申し上げます。今後も鴨川市議会が皆様にとって身近な存在であり続けられるよう取り組んでまいります。引き続きご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

(議会広報委員会一同)

